

医療法人みどり会 中村病院



回復期リハ病床113床
一般病床48床 療養病床45床 計206床



看護部長 藤原氏



副看護部長 村佐氏



介護課長 島田氏



介護課長代理 蒲田氏

スマートフィット テープ止めタイプをお使いいただいている、大阪府枚方市の「中村病院」様にインタビューさせていただきました。中村病院は、地域に求められる医療から介護までを包括的に提供できるよう、温かい思いやりのある全人的な医療を提供し、地域の「かかりつけ病院」としての役割を果たされています。(ホームページより抜粋)今回は、看護部長の藤原さんと副看護部長の村佐さん、介護課長の島田さん、介護課長代理の蒲田さんにインタビューしました。

スマートフィットをどのような方にご使用されていますか？

藤原 病棟では、患者様のADLに応じておむつを使用しています。昼間はパンツタイプ、夜間はスマートフィットに変更して使用する方もいます。



村佐 テープ止めタイプなので、基本的にはご自身でトイレに行けない排泄介助の必要な方に使用しています。

スマートフィットを初めて手にした時の印象と、実際の使い心地はいかがですか？

島田 うすさに驚きました。うすいことで柔軟性があるので、患者様のお肌に優しく沿うように感じます。

藤原 もともと、他社メーカーの紙おむつを使用していました。以前使用していたテープ止めタイプは厚みがあり、ゴワゴワして跡が残ることもありました。スマートフィットはうすく、やわらかいので、浮腫のある方などにも、肌あたりがいいように感じます。

蒲田 うすいと破れの不安があったのですが、素材がしっかりしているので、問題なく使用できています。ごみの量もコンパクトになり、驚きました！

ごみの量が減ったのは嬉しいですね。新しい紙おむつを取り入れるにあたって、職員様の反応はいかがでしたか？

村佐 以前使用していたテープ止めタイプは、伸縮性がないものでした。同様のあて方でスマートフィットを試すとモレが発生することもありましたが、伸縮性を



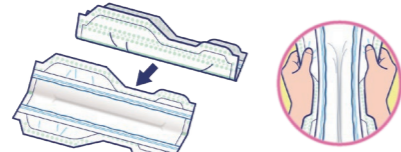
活かした正しいあて方を徹底することで、モレがなく安心して使用できています。

島田 スマートフィットは、難しい「サイズ選び」もスムーズにできると喜びの声もありますね。伸縮性があるので、たった3サイズでほとんどの方の体型をカバーできています。

蒲田 以前使用していた他社メーカーのあて方では、テープ止めタイプやパッドタイプの山折りを推奨されていましたが、リフレに変えてからは谷折りにすることに驚いていました。



少しあて方が変わり、職員様も驚かれたのですね。伸縮性を活用した正しいあて方でのモレ軽減や、スムーズなサイズ選定も嬉しいですね。リフレが谷折りを推奨しているのは、紙おむつとお肌の間に、排泄物がとどまる空間を確保することで、あふれモレ防止につながるかと考えているからです。



どのように職員様へあて方を周知されましたか？

藤原 リブドゥさんにあて方の研修会を開催していただきました。研修の内容も、すごく楽しく、目からウロコな情報もあり、勉強になりました！また職員へも、空いた時間にリフレラボの選び方使い方動画を閲覧するように声を掛けました。

村佐 研修後、1週間ほどサンプルを試す期間もあり、あて方を周知・実践していく良い機会になりました。

蒲田 研修に参加できなかった職員に対しては、声を掛け合うことで共有していききました。



研修の内容が職員様の身につくよう、動画やサンプル期間も上手にご活用いただきありがとうございます。

スマートフィットはうす型で、“動き”に着目した商品となっていますが、この点についてはいかがですか？

蒲田 患者様に合わせて足まわりにクッションなどを入れる際、うすさと伸縮性があるので足が動かしやすさように感じます。

島田 以前使用していたテープ止めタイプだと、股下がゴワゴワして、足まわりに赤みが出やすい患者様もいらっしゃいました。スマートフィットに変えてからは、赤みも落ちつき、問題なく使用できています。



村佐 柔軟性があるので拘縮のある患者様にもおすすめできますね！

藤原 一定方向の伸縮ではなく、タテ・ヨコ・ナメに伸縮するので、様々な体型や状況に応じたあて方ができる点はすごくいいと感じています。

足の動かしやすさや肌トラブルの改善にもつながり、嬉しく思います。

スマートフィットは入院セットに導入していただいているとのことですが、入院セットとはどのようなものでしょうか？

藤原 入院時に必要となる衣類やタオル、紙おむつなどのセットをレンタルで提供させていただくサービスです。新型コロナウイルスの影響で面会制限をしているので、入院セットのご要望が増えているように感じます。

入院セットにスマートフィットを選んでいただいた理由を教えてください。

藤原 入院セットの内容は、病棟の特性にあわせてパターンを変えていますが、紙おむつは全て同じものを使用しています。色々な紙おむつを試しましたが、スマートフィットはどんな方にも相性がいいと感じています。たくさんの方にいいものを使ってあげたい、という想いでスマートフィットを選びました。

たくさんの方に適応できるとのご評価、ありがとうございます。



排泄ケアは、どのようなことを意識して取り組んでいますか？

藤原 患者様の快適性を意識しています。今回、スマートフィットを選定したこともそのひとつですが、患者様が夜間安心して眠れるような工夫もしています。交換回数は病棟や患者様にもよりますが、1日3~5回程度とし、夜間は高吸収パッドのハイパーシリーズ プレミアムを使用しています。

●高吸収パッド「ハイパーシリーズ プレミアム」



夜間の安眠は、患者様のQOL向上にもつながるので、素晴らしい取り組みですね。ハイパーシリーズもご使用いただき、ありがとうございます。独自の吸収体構造で、たくさんの尿をしっかり吸収し、逆戻りも防ぐので、さらさら快適が続きます。そのため、お肌への不安がある方にもおすすめできます。



この度は、お話を聞かせていただき、本当にありがとうございました。

中村病院の取り組み

新型コロナウイルス感染予防対策



検温やアルコール消毒
アクリル板の設置など

基本的な対策を徹底しています。

感染予防対策マニュアルも、新型コロナウイルス対応が変更になる毎に改正され、職員全員に周知し実行できるようにしています。

面会は完全に禁止するのではなく、事前予約制、1家族様につき2名様までの制限付きで、週1回(15分間)面会できる方法を取っています。入院している家族の様子を直接確認することができ、患者様、ご家族様にも安心していただいています。

院長から、「医療従事者として、節度ある行動を」と注意喚起を受け、職員一人ひとりが意識高く取り組んだことも、職員の感染やクラスターを防止できた要因と考えております。



アクリル板の設置



検温の実施



手指アルコール消毒の実施

リフレラボの活用で 職員のスキルアップ！

リブドゥコーポレーションが提供している会員制動画サイト「リフレラボ」に登録しています。院内の共有フォルダにリンクを貼り付け、職員がいつでも好きな時に見られるようにしており、日勤や夜勤のすきま時間に職員それぞれが自主的に動画を閲覧して勉強しています。動画の中では、特に男性巻きのあて方は勉強になるとの声がありました。今後は病院内の集合研修で動画を活用するなど、職員のスキルアップに活用していきたいと考えています。



詳しくは裏面へ→